教学 IR について

1）IR とは

IR（Institutional Research：インスティテューショナル・リサーチ）とは、大学の経営改善や学生支援、教育の質向上のため、学内における情報を収集・分析し、改善施策を立案・施策の実行・検証を行うといった広範な活動のことです。

2）教学 IR 活動について

本学は、「IR 推進委員会」を中心に様々な教学 IR に係る活動を実施しています。近年においては、学修成果を可視化するため、GPA や学内で管理しているデータを活用して取得した学位・資格、および自身が身につけた知識・能力等を示す、ディプロマ・サプリメントを学位記とともに交付しています。また、本学において教育活動の点検・評価に係るアセスメントプランを策定し、当該プランに対する IR の見解を踏まえ、授業改善および学生支援の観点から分析を進めていきます。そのほか、他大学と協働して教学 IR をテーマとした合同研修会を開催し、教学 IR の普及・推進に向けて取り組んでいます。

3）IR 推進委員会について

〔目的〕

委員会は、本学の IR 活動に関する事項について審議することを目的としています。

〔審議事項〕

① 各課が所有する諸データの収集及び管理に関すること。
② 学修成果に関するデータの収集及び分析に関すること。
③ 大学認証評価及び監督官庁等への各種調査に係るデータ提供に関すること。
④ 収集したデータの公開及び共有に関すること。
⑤ 各種アンケート調査に関すること。
⑥ その他、各種データの収集・分析に関すること。

4）各種アンケート調査結果の公表について

本学では、教育改善に向け、学生等を対象として各種調査を実施しています。
調査結果等は、大学ホームページ ＞ 情報公開 ＞ その他事項 のページに掲載しています。

① 卒業時アンケート

卒業予定者を対象とするアンケート調査で、成長実感や満足度等について測定することを目的としています。収集されたデータや分析結果は、学内にて共有され、教学改善の検討に活用しています。

【具体的な改善内容】

学生からの他の学生に対する受講態度に関する意見を踏まえ、本学において組織的に適切な授業運営に取り組むため、受講マナーに反する行為等に対する指導および対処に関する申合せ等を策定し、教員および学生に周知を行った。

令和 6（2024）年度　（←過年度に準じて分析した結果を令和 6 年度内に掲載）
令和 5（2023）年度
令和 4（2022）年度
令和 3（2021）年度
令和 2（2020）年度
令和 1（2019）年度
平成 30（2018）年度

② 卒業生アンケート

卒業生を対象とするアンケート調査で、キャリアの状況等について把握することを目的としています。収集されたデータや分析結果は学内にて共有され、教育活動等の改善や学生指導に役立てています。

令和 5（2023）年度　設問項目
　　結果分析
令和 4（2022）年度　設問項目
　　結果分析
令和 3（2021）年度　設問項目
　　結果分析
令和 2（2020）年度　設問項目
　　結果分析
令和 1（2019）年度　設問項目
　　結果分析

③ 卒業生に関する満足度アンケート

卒業生の就職先等の進路先を対象とするアンケート調査で、意見等を聴取することを目的としています。収集されたデータや分析結果は学内にて共有され、教育活動等の改善や学生指導に役立てています。

令和 5（2023）年度　設問項目
　　結果分析
令和 4（2022）年度　設問項目
　　結果分析
令和 3（2021）年度　設問項目
　　結果分析
令和 2（2020）年度　設問項目
　　結果分析
令和 1（2019）年度　設問項目
　　結果分析

④ 授業フィードバック・アンケート

各授業の受講学生を対象とするアンケート調査で、授業評価を通じて、教員ごとの授業の内容・方法等および学生の授業への取り組み等に関する問題点を明らかにし、各教員による授業改善につなげることを目的としています。各教員は、収集されたアンケート結果の内容を把握し、個人点検・評価報告書（ティーチング・ポートフォリオ）に記載し、自己省察のうえ、次年度の授業改善に活用しています。

令和 6（2024）年度　前期
　　後期　（←過年度に準じて分析した結果を令和 6 年度内に掲載）
令和 5（2023）年度　前期
　　後期
令和 4（2022）年度　前期
　　後期
令和 3（2021）年度　前期
　　後期
令和 2（2020）年度　前期
　　後期

⑤　学生生活アンケート

在学生全員を対象とするアンケート調査で、学生生活全般に関する意見や要望を把握し、学生満足度の向上につなげることを目的としています。収集されたデータや分析結果は、学内にて共有し教学改善の検討に活用しています。

【具体的な改善内容】

(1) 本学学生の授業時間外の学習時間の確保のため、シラバスの記載内容について、準備学習に必要な時間及び、それに準じる程度の具体的な学習内容の記載を図った。

(2) 学生からの意見を踏まえ、学生の多様なニーズに応じたサービスへの転換を図るため、事務局内に学生応対用のカウンターを設置した。

(3) 学生からの意見を踏まえ、学生の利便性を向上させるために、大学内の主要な学舎に業務用電子レンジおよび給湯ポットを設置した。

(4) 学生からの意見を踏まえ、更なる学生サービスの向上および充実を図るため、新たな福利厚生施設の建設・運営について検討を行い、開設した。

なお、以下のデータは、学生の授業以外の学習実態を把握するために、該当する設問に対する回答の集計結果を抜粋しています。

令和５（2023）年度（抜粋）
令和４（2022）年度（抜粋）
令和３（2021）年度（抜粋）
令和２（2020）年度（抜粋）

（以　上）